

JIS

UDC 621.318.134-465 : 621.318.43.042.13

C 2516

ポット形フェライト磁心

JIS C 2516-1990

(1996 確認)

(2004 確認)

平成 2 年 10 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 38.9.1 改正：平成 2.10.1 確認：平成 8.7.1

官 報 公 示：平成 8.7.1

原案作成協力者：日本電子材料工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 電子部会（部会長 吉川 昭吉郎）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報電気規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

ポット形フェライト磁心

C 2516-1990

(1996 確認)

Pot-cores made of ferromagnetic oxide

1. 適用範囲 この規格は、主にコイル及び変成器に使用するポット形フェライト磁心（以下、磁心という。）のPP形、RM形及びEP形について規定する。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS C 2560 フェライト磁心通則

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

IEC 133 (1985) Dimensions of pot-cores made of magnetic oxides and associated parts.

IEC 205 (1966) Calculation of the effective parameters of magnetic piece parts.

IEC 431 (1983) Dimensions of square cores (RM-cores) made of magnetic oxides and associated parts.

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、JIS C 2560によるほか、次による。

- (1) 実効断面積 A_e 磁路の実効的な断面積。単位は、平方メートル (m^2) を用いる。
- (2) 実効磁路長 l_e 磁路の実効的な長さ。単位は、メートル (m) を用いる。
- (3) 実効体積 V_e 磁路の実効的な体積。単位は、立方メートル (m^3) を用いる。
- (4) 磁心定数 C_1 又は C_2 磁心の形状的な定数。 C_1 の単位は、毎メートル (m^{-1})、 C_2 の単位は、毎立方メートル (m^{-3}) を用いる。
- (5) インダクタンス係数 A_L 一組の磁心に巻いたコイルに生じる単位巻数当たりの自己インダクタンス。単位はヘンリー (H) を用いる。
- (6) 材料履歴定数 η_B 磁性材料がレイリー領域で作動するときの履歴損失を表す定数。単位は毎テスラー (T^{-1}) を用いる。

3. 形名

3.1 形名の構成 形名の構成は、次に示す配列による。

(1) PP形磁心

形状を表 す記号 (3.2.1)	寸法 d_1 を 表す記号 (3.2.2)	×	寸法 h_1 を 表す記号 (3.2.2)	ハイ フン	リード溝 を表す記 号 (3.2.3)	ハイ フン	中脚の構 造を表す 記号 (3.2.4)	ハイ フン	インダク タンス係 数を表す 記号 (3.2.6)	ハイ フン	材質を表 す記号 (3.2.7)
例1. PP	9	×	5	—	2	—			100	—	XY10
例2. PP	14	×	8	—	4	—	J	—	100	—	XY10